

平成27年度学校自己評価システムシート（県立春日部高等学校・定時制課程）

目指す学校像	基礎学力を身に付け、人権尊重の精神を養い、一人ひとりの生徒が生き生きと共に学び合う学校
--------	---

重点目標	1 安心安全な環境の中で、基本的な生活習慣を身に付けさせ、規範意識と自己管理能力を育成する。 2 「わかる授業」を実践し、進路に応じた学力の向上を図る。 3 キャリア教育を実践し、進路希望を実現する。 4 学校・家庭・地域社会への情報発信を通じて、魅力ある学校づくりを推進する。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	8名
	生徒	2名
	事務局(教職員)	10名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価 (2 月 1 9 日 現 在)		
年 度 目 標					年 度 評 価 (2 月 1 9 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>○多様な生育環境を有してきた生徒が在籍している。すべての生徒が共有できる安心安全な教育環境は整いつつある。また、学年を追うごとに基本的な生活習慣が徐々に身に付き改善されてきている。</p> <p>しかしながら、規範意識の定着や自己管理能力は、まだまだ不十分である。学習指導や学校行事への参加を通じて、粘り強く指導し、社会のルールやマナーを遵守できる生徒を育成する必要がある。</p>	<p>○中途退学率、非行・問題行動発生率の減少</p> <p>○無断欠席、遅刻、早退者数の減少</p> <p>○学校生活に満足している生徒数の増加</p>	<p>①SCや担任による個人面談や報告会を実施し、情報共有と生徒理解に努め、効果的な指導を行う。</p> <p>②特別支援学校や関係機関を訪問し、コーディネーター等と連携した指導を行う。</p> <p>③-1登校時は立哨指導を行い日頃から全生徒との関係を深める指導を行う。</p> <p>③-2生徒指導に関する研修会を実施し教員の指導力向上を目指す。</p> <p>③-3家庭や保護者との連絡を密に取り、連携した指導を行う。</p> <p>④年3回の学校生活アンケートを活用して教育活動に工夫・改善を加える。</p>	<p>①中途退学率が前年度より減少したか。(H26:8.6%21名)</p> <p>②非行・問題行動の発生件数を減少することができたか。(H26:14件)</p> <p>③出席率90%以上、遅刻率、早退率・欠課者数を減少することができたか。(H26出:88.1% 遅:13.6% 早:3.0%)</p> <p>④学校生活に満足する生徒の割合が80%を越えたか。(H26:67.6%)</p>	<p>①中途退学者は昨年同様21名退学率9.0%、0.4ポイント増。</p> <p>②非行・問題行動の発生件数13件で昨年同様。(1年が多く暴力行為が増)</p> <p>③出席率1.1ポイント低下。遅刻率3.0ポイント改善。早退率0.8ポイント改善。(H27出:87.0%、遅:10.6%、早:2.2%)</p> <p>④学校生活に満足する生徒の割合77.0%、10.6ポイント増。</p>	B	<p>○1学年の面談や教育相談を早期に実施し生徒の実態把握に応じた指導が必要である。</p> <p>○基本的な生活習慣の定着は指導の手を緩めると後退の可能性もある。長期にわたって粘り強い指導を今後も継続していく。</p> <p>○学校生活の満足度は高くなっている。質の高い満足が図れるよう一層工夫改善をした授業や進路指導を実践して、生徒に魅力ある学校生活を提供する。</p>
2	<p>○静かな授業環境が整備され、周囲からも高く評価されている。</p> <p>しかしながら、基礎学力の確実な定着は大きな課題である。生徒のモチベーションを引き上げ、学力の向上と卒業後の進路実現に向けた効果的な取り組みが必要である。</p>	<p>○「授業がわかる」生徒数の増加</p> <p>○静かで落ち着いた授業の実現</p>	<p>①教員相互の授業参観や授業研究により授業改善を図り、学習スタイルを活用し、わかる授業を展開する。</p> <p>②少人数・習熟度別・チームティーチングによる、きめ細かな学習指導を実践する。</p> <p>③来校者及び生徒へのアンケート調査を実施し、結果を授業へ還元する。</p>	<p>①定期的実施する小・中学校の学年別理解力テストの結果が向上したか。</p> <p>②「授業がわかる」生徒の割合が80%を越えたか。(H26:65.8%)</p> <p>③来校者や生徒の授業アンケートで「静か、真剣さを感じられる」が80%を越えたか。(H26:58.5%生徒アンケート)</p>	<p>①数学に関する小・中学校の学年別理解力テストの結果は向上。(3学期分は今後実施)</p> <p>②「授業がわかる」生徒の割合は71.0%、5.2ポイント増。</p> <p>③来校者等アンケートは未実施感想では「意外と真面目」の意見が大多数。</p>	A	<p>○授業理解度は上昇している。習熟度別学習指導や少人数学習を活用して、より高いレベルの理解度に引き上げていきたい。</p> <p>○静かで落ち着いた授業の実現から生徒の活気と意欲を感じ取れる授業を目指し、学力向上と卒業後の進路実現に向けた効果的な取組を行う。</p>
3	<p>○進路未決定で卒業を迎える生徒が少なくない。</p> <p>入学時の早期からキャリア教育の実践と生徒の進路希望を実現するため、蓄積されたデータを活用し、計画的・組織的な学力向上の取り組みが必要である。</p>	<p>○進路未決定で卒業する生徒数の減少</p> <p>○進学希望実現者数の増加</p>	<p>①進路講演会や分野別専門学校体験講座を開催する。(5月)</p> <p>②授業や特別活動を活用したキャリアガイダンスを実施する。</p> <p>③-1総合的学習の時間に学習講座を開講し、進路実現に必要な基礎学力の向上に努める。</p> <p>③-2企業訪問とアプケアを行い就労を支援する。</p>	<p>①進路未決定者の割合を30%以下にすることができたか。</p> <p>②正規雇用者の割合が30%を越えたか。</p> <p>③企業訪問を実施し、就職実現率を前年度比10%以上増加することができたか。</p>	<p>①進路未決定者の割合は20.8%で目標達成。難関大学に合格者を輩出。</p> <p>②正規雇用内定者の割合は60.0%で目標達成。</p> <p>③卒業生就職企業11社を訪問しアプケアと求人依頼。就職内定者昨年同様18名。</p>	A	<p>○2年3年時の早期進路指導を工夫し、卒業時の路決定者90%以上を実現させたい。</p> <p>○各教科の協力による補習や進学指導で難関大学合格者を出した。定時制高校でも大学進学実現を定着させる。</p> <p>○企業訪問を継続し正規就職率を向上させる。</p>
4	<p>○中学校への積極的な訪問やHPの定期的更新、最新の情報の発信などによって本校に入学する生徒の割合が増えている。</p> <p>今後も情報発信の工夫と継続を図り、春日部高校定時制の、魅力ある学校づくりを推進していく必要がある。</p>	<p>○学校見学者数の増加</p> <p>○入学希望者数の増加</p> <p>○来校保護者数の増加</p>	<p>①前年の中学校訪問や学校見学体制を継続し、全教職員による計画的・組織的な体制で実践する。</p> <p>②受検希望の生徒への魅力的な学校案内を作成し、近隣の中学校に配布する。</p> <p>③適応指導教室へ訪問する。</p> <p>④定期的にHPを更新し、最新の情報を提供する。</p>	<p>①体制が計画的、組織的に十分機能することができたか。</p> <p>②中学校関係者来校数は増加したか。(H26:55件)</p> <p>③適応指導教室への訪問数は増加したか。(H26:87件)</p> <p>④定期的にHPを更新したか。</p>	<p>①③全教員で中学校や適応指導教室85か所を訪問。</p> <p>②中学校関係者来校数71件。6件の増。</p> <p>④トップページの更新や学校便り掲載で最少月1回のHP更新。</p>	A	<p>○昨年と同数の中学校・適応指導教室訪問を実施した。入学志願倍率はまだ未定だが、1.0倍を目標に生徒募集に取り組む。</p> <p>○HP閲覧によって本校を受検するケースが増加しており、最新の情報を今後も提供したい。</p>

学校関係者評価	実施日 平成28年 2月20日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<p>○早い時期に学習と労働のバランスをアドバイスしてくれることで、生活のリズムが整いやすいと思われます。</p> <p>○非行問題行動を起こす生徒は少なくなっているが、コミュニケーション不足が起因する暴力行為が増加している。中学校時に不登校を経験した生徒が多く、人間関係構築能力が低い生徒も少なくないので、学校の指導を通じて改善することを期待したい。指導の機会を生徒の立ち直りのきっかけとし、今後も「やり直し」のチャンスを作っていたきたい。</p> <p>○本校定時制に対する満足度や評価は高い。それがさらに後輩たちに伝わり、春高定ならでの教育を実践して欲しい。</p> <p>○とても良い授業・生活の態度に感心しています。しかし、ごく少数の本当にわからないままおいて行かれた生徒は投げげてしまうでしょう。補習等の有無を親に伝えてもらえたと子供にも声を掛けやすいです。</p> <p>○授業が落ち着いていることと生徒の理解度は必ずしも一致しない。そのことを踏まえての基礎学力向上の取組は素晴らしい。今後も授業改善を進めてよりわかりやすい授業を展開してほしい。</p> <p>○大学受験する生徒が増え、希望の設定が高くなってきているのを実感しています。生徒のやる気と教師に支援が素晴らしいと思います。この傾向を続けるため、卒業生の講演会などの開催は、在校生のためになると思います。</p> <p>○難関大学に合格者を出したことは進学を希望する生徒に明るい兆しです。今後のご指導をお願いします。</p> <p>○定時制はわけありの子が行くところという偏見がありますが、とても素晴らしい学校なので、学校に惹かれて志望する子を増やすため、PTAも文化祭等で周知を促していきます。</p> <p>○学校HPの刷新は、中学生や保護者などの貴重な情報源となっている。春高定時制の教育活動を積極的に公開し、開かれた学校づくりにこれからも取り組んでほしい。</p>